

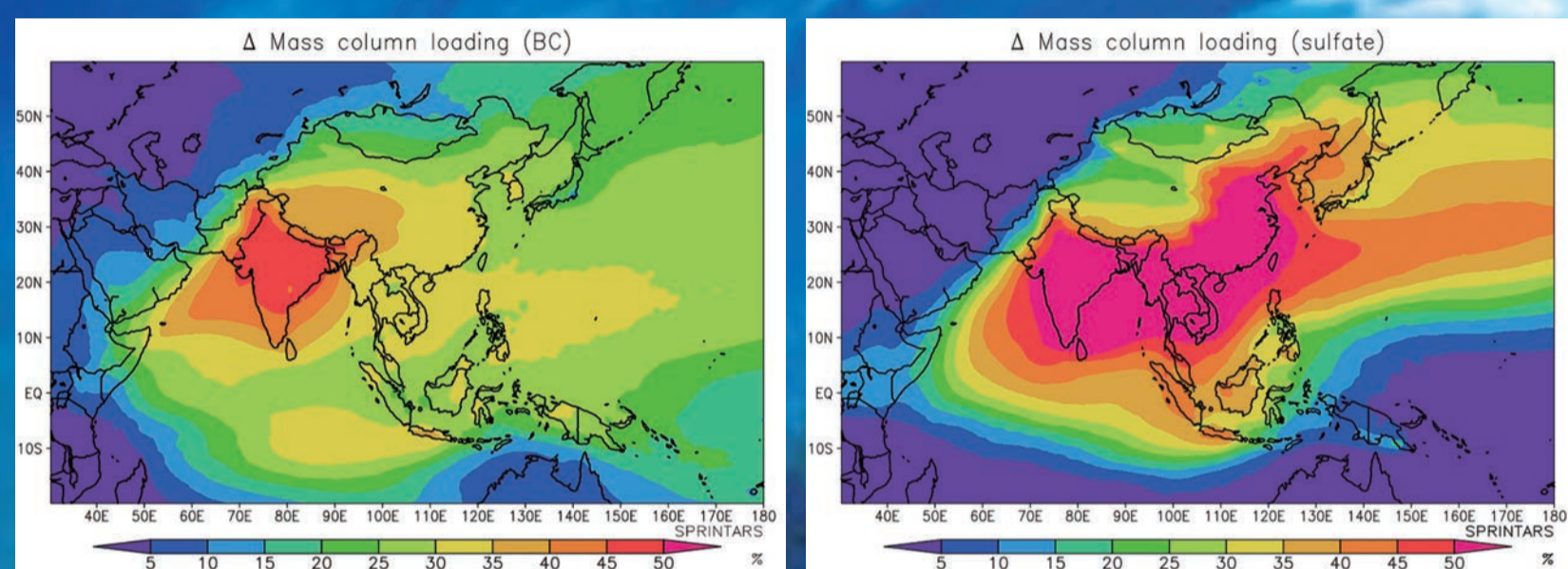
第2回 公開シンポジウム

地球温暖化と大気汚染による 影響の軽減に向けた新たな取り組み

— 短寿命気候汚染物質 (SLCP) の影響評価とその削減対策 —

様々な人間活動によって発生する黒色炭素や対流圏オゾンなどの大気汚染物質は、二酸化炭素などの長寿命温室効果ガスに比べると大気中の滞留時間が短いのですが、地球温暖化を引き起こすことから、「短寿命気候汚染物質」(SLCP: Short Lived Climate Pollutants)と呼ばれています。SLCPは、長寿命温室効果ガスに比べるとその削減は比較的容易で、削減効果もすぐに現れるために、地球温暖化対策の新たな手法として、国際的な取り組みが始まりました。本シンポジウムではその取り組みについて紹介します。

さらに第2回となる今回のシンポジウムでは、研究の進展とともに得られた成果を発表し、今後の展望を議論します。



本プロジェクトの数値モデル(MIROC-SPRINTARS)で計算した、黒色炭素(BC:左パネル)および硫酸塩粒子(Sulfate:右パネル)の大気中濃度に関して、1980年から2010年の増加率の推定値。値が大きいほど、近年にかけて濃度の増加分が多いことを示しており、アジアでは大気汚染物質が増加していることがわかる。

Program

13:00~13:05

ごあいさつ 環境省

13:05~13:25

「**進行する地球温暖化と大気汚染**」
S12代表 中島 映至(宇宙航空研究開発機構)

13:25~13:45

「**アジアにおける大気汚染の実態把握と
排出インベントリの作成**」
大原 利真(国立環境研究所)

13:45~14:05

「**AIMモデルによる大気汚染物質の排出シナリオ**」
花岡 達也(国立環境研究所)

14:05~14:25

「**大気汚染物質の気候・環境に対する影響の評価**」
竹村 俊彦(九州大学)

14:25~14:55

総合討論

14:55~15:00

閉会あいさつ S12代表

[司会: 鶴田 治雄(リモート・センシング技術センター)]

平成28年

1/7 木

参加費
無料

日時: 13:00~15:00

場所: 東京大学生産技術研究所
コンベンションホール

東京大学駒場IIキャンパス

<http://www.rief.or.jp/pdf/toudaimap.pdf>

参加申し込み

お名前(ふりがな)、ご所属を明記の上、
メールにてお申し込み下さい。

申し込み期限

平成27年12月22日(火)

申し込み先・問い合わせ先

E-mail: s12_staff@aori.u-tokyo.ac.jp